

酸蝕症 さんしょくしょう

酸蝕症(さんしょくしょう)とは、食べ物や飲み物で歯が溶けてしまう病気です。

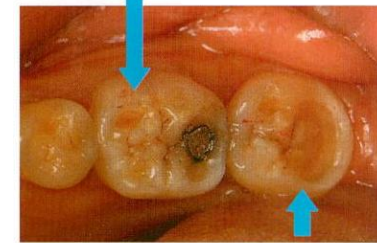
・むし歯は、むし歯菌(きん)が糖分を分解してつくる「酸(さん)」によって歯が溶けることですが酸蝕症はむし歯菌ではなく、ジュースや食べ物に含まれる「酸」によって歯がとけてしまいます。

・何で歯が溶けちゃうのか!?

レモンを食べたときに「すっぱい!」と感じる、あの「すっぱさ」が「酸」です。実は歯は「酸」にとっても弱く、すっぱいものを食べたり飲んだりしすぎると、歯の表面が少しずつ溶けて薄(うす)くなってしまいます。



歯が溶けると元に戻(もど)る事ができません。右の写真のように歯の表面のエナメル質がなくなり、歯の中の黄色い象牙(ぞうげ)質が出てきて、冷たい物が「キーン」としみたり、歯が壊(こわ)れやすくなります。



(グラクソ・スミスクラインより)

奥歯の酸蝕歯



(グラクソ・スミスクラインより)

前歯の酸蝕歯



歯医者さんからのメッセージ

★酸蝕症を防ぐには、予防が大切!★

- ◇炭酸水・スポーツドリンクなどのジュースは時間を決めて飲みましょう!
- ◇すっぱいものを食べたり飲んだら、お水でぶくぶくうがい! 歯みがきも忘れずに!
- ◇歯医者さんで定期健診(けんしん)とフッ素塗布(とふ)を受けましょう!



8020

80歳になっても
20本以上自分の
歯を保とう